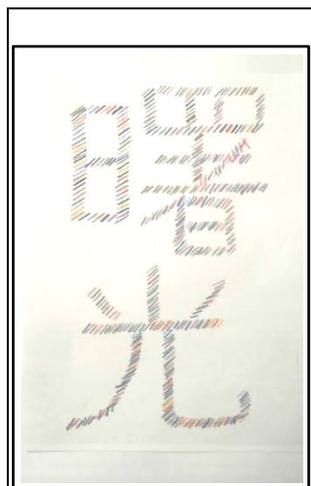


施設が所在する東広島市内でも数は多くないが、新型コロナウイルスへの感染報告が毎日のようにあり、施設や学校でもクラスターが発生している。あけぼのでも感染が起きないか不安であり、新型コロナへの対策に追われ気の抜けない日々を過ごしている。

昨年の年末には広島県内の感染者数が140人を超え、緊張感が高まったが、広島県が第2次新型コロナウイルス感染防止集中対策として県民、事業者への外出自粛等の要請（外出機会を半分に削減・20時以降の外出の削減や広島市内の

静定の工夫



第74号

令和3年2月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター

あけぼの

〒739-0036
東広島市西条町田口295-3
TEL (082) 425-1455



飲食店等への営業時間の短縮）・PCR検査等の強化による感染者の早期発見やクラスター対策を打ち出し、県民も要請に応じたことから、原稿を書いているこの2週間程は新規感染者の発生は20人以下となっている。

新型コロナウイルスが開発され諸外国での接種も始まったが、発症も重症化もゼロにはできず、現時点で決定的な治療薬もない。先月には新たに感染力が強くなった変異株の国内症例が確認された。刻々と変化する自然物である新型コロナウイルスへの科学的対応も完全はなく、新型コロナウイルスへの対応に休みはない。

この10年社会保障費の問題もあり、日本の医療機関（福祉施設も同じような状況であるが）は経済効率を上げることとをひたすら追求してきた。ベッドの稼働率を100パーセントに近づけるため、医師や看護師等の医療従事者は常に忙しく働き、院内に患者が沢山いる状況が経済効率のいい医療であった。

第一波が過ぎたあと、指定医療機関では空床を確保しておくため、赤字覚悟でベッドを空けておくことにより第二波に備える対応を行った。国や地方自治体には、常に緊張

感を持つて新型コロナウイルス感染者への対応に頑張っている医療従事者（福祉施設職員）に対して経済的なものも含めた様々な支援をお願いしたい。難しいことだが、人の命を最優先しながら、経済を停滞させないといった矛盾がある中で、忙しく困難な時にこそ平静となる工夫を回らしたいと思う。



行事紹介①「鍋会」(R2. 11. 26 開催)

寒い時期になり、鍋の季節がやってきました。今回は、新型コロナウイルス感染対策を十分にとり、例年は利用者の皆さんと一緒に鍋を囲む職員も、鍋の注ぎ分けに専念しました。鍋は3種類（とんこつ鍋・塩ちゃんこ鍋・キムチ鍋）の中から選んでいただき、4～5人ごとにテーブルを分けて食べていただきました。飲み物も、ジュースやお酒などそれぞれお好みのものを用意して、ぐつぐつ熱々のお鍋を楽しめました。



キムチ鍋

とんこつ鍋



キムチ鍋辛くて最高！！
たくさん食べました！

行事紹介②「年送り会」(R2. 12. 25 開催)

今年の年送り会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年は行っている、職員やボランティアによる出し物は行わず、食事（すき焼き）のみの提供となりましたが、寒い時期だったので、利用者の皆様は、「あたたかくて美味しい！」と笑顔で話されていました。

また、当日がクリスマスということもあり、飾りつけやBGMなどもクリスマス仕様で雰囲気づくりをしました。

温かくて美味しい！
飲み物とともに♪



行事紹介③「新年会」(R3. 1. 12開催)

2021年初めのイベントとして新年会を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため中止を余儀なくされた行事も多かった為、「何としても新年のお祝いをみんなでやりたい!」と思い、企画しました。

例年は、食堂に集まって、一年の抱負の発表やレクリエーションを楽しんでいたのですが、今回は、感染予防の観点から各館のデイコーナー4か所を中心に、少人数に分かれて行いました。

まず昼食時は、初詣気分を味わっていただくために、神社の鳥居を模した食堂入り口をくぐってもらい、神社やお正月によく耳にする音楽が流れる中で、食事をしていただきました。食後、各館のデイコーナーに移動していただき、全館放送にて、自治会長のあいさつ、続いて、年男・年女・新成人の抱負を披露していただきました。

その後、皆さんに「おみくじ」を引いてもらいました。おみくじには、「今年の運勢」と、「自分のこの一年の抱負を披露してください」と書かれたものを用意。大吉を引いて喜ぶ方もいれば、大凶を引く方もあり、大盛り上がりでした。さらに、絵馬を用意し、思い思いに願い事などを書いてもらいました。絵馬は、それぞれに引いてもらった「おみくじ」と一緒に紐に結びつけ、掲示板に用意した「奉納所」に飾り付けました。その後、甘酒やココア等の飲み物とお茶請けを味わっていただき、施設長のあいさつにて閉会しました。

利用者の皆さんからは、「初詣気分を味わえてよかった。」「行事の縮小や中止続きだったが、気分転換になってよかった。」などの声を多数いただきました。また、同時に改善点を指摘してもらえる声もありました。今年も、コロナウイルスに負けることなく、より一層の創意工夫をしながらコロナ時代の新様式の行事を盛り上げていきたいと思えます。

・鳥居の飾り付け ・おみくじ



おみくじで大吉が
出ました!!

何をお願い しようかな...



各館デイコーナーにて 絵馬を書く様子



絵馬の中には、
自分自身の目標は
もちろんコロナの
収束を願う物など
様々ありました。

新型コロナウイルス対策

・食堂入口や日中活動の場所には、アルコールを設置しています。



オゾン発生拭（空気中のウイルス除去）の設置も行っています。



利用者・職員ともに毎日検温し、マスクの着用・手指の消毒をかかさず行っています。

・通所利用者は日中活動の場所を入所利用者と分け、動線も分けて利用いただいています。



利用者の動き (令和2年11月1日～令和3年1月31日)

《新規利用者》 8名 (入所7名, 通所1名)

【内訳】 利用経路：リハセンター高次脳専用病床7, 病院1

利用事業：機能訓練7, 生活訓練1

《利用終了者》 7名 (入所4名, 通所3名)

【内訳】 生活の場：自宅4, グループホーム1, 施設(障害)1, 病院1

活動の場：就職1, 復職1, 生活介護1, 入院1, その他(主な活動なし)3



新型コロナウイルスが猛威を振るうようになって約1年が経とうとしています。現在首都圏等では緊急事態宣言も出ており、多くの方が我慢を強いられて生活していることとされています。感染者も現在は緊急事態宣言の効果か、徐々に減少してはいますが、変異ウイルスも発見され油断ならない日々が続いています。私事ではありますが、趣味である野球観戦も去年はあまり出来ませんでした。新型コロナウイルスを気にせずに日々を送れるようになるのはいつになるのでしょうか…。

編集後記

題字紹介

今回も題字を書いてくださったのは、利用者の足立一浩さんです。足立さんには毎月、館内に季節や行事を感じさせるとても素敵な壁画を描いていただいております。他の利用者や職員から大変喜ばれています。これからも素敵な作品づくりなど活躍を期待しています。